

とっとり 緑推だより

NO.24

2009.8発行

社団法人 鳥取県緑化推進委員会

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地鳥取県農林水産部森林・林業総室内

TEL 0857-26-7416 FAX 0857-26-7308

E-mail:info@tottori-green.or.jp URL:<http://www.tottori-green.or.jp>

会員の現況平成21年1月末現在 正会員113名 贊助会員85名 特別会員1名

理事長就任の挨拶



鳥取県議会議長 小 谷 茂

皆様方には、日頃から、本県の緑化推進や緑の募金活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

「荒廃した山に緑を取り戻そう」と昭和25年に始まった国土緑化運動も60年近くが経過し、森林を中心とする緑づくりに一定の成果はありましたが、地球温暖化対策が急務となっている現在、以前にも増して森林の働きに対する期待が高まっております。

更には、今後のポスト京都議定書を巡る国際合意の際には、森林吸収による温室効果ガス削減の上積みが必要となることが予想されており、森林吸収源対策は差し迫った課題となっております。

森林は水源の涵養、空気の浄化、県土の保全など多くの恵みを私たちに与えており、県民生活や経済活動に欠かせない「緑の社会資本」と言えます。

一方、木材価格の長期低迷等により林業生産活動が停滞し、手入れが遅れた森林が増加し、森林のもつ公益的機能の高度発揮への影響が懸念されております。

森林からの恩恵は県民全体が享受するものであり、県民みんなで森林を守り育てていくことが大切であります。そのためには県産材の利用、森林づくり活動への支援などの取組を進めていかなければなりません。

本委員会では、春・秋の年2回、緑の募金活動を行い、昨年は約24百万円の募金が寄せられました。皆様から寄せられた募金は、森林の保全・整備、苗木配布や植樹祭の開催、地域や学校、公園などの緑化、みどりの少年団活動など、幅広い森林づくり活動を支援するために活用されています。

また、本県では昭和40年に第16回全国植樹祭を開催しておりますが、この度、2巡目となる第64回（平成25年）全国植樹祭を開催することとなりました。開催に向けて、県と連携、協力しながら準備を進め、本県の豊かな自然や歴史、食材等もアピールできる全国植樹祭にしたいと思っておりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

本委員会の事業展開は、緑の募金など県民の皆様の協力の上に成り立っております。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

第13回通常総会の開催

とき 平成21年2月12日（木）
ところ 白兎会館「らいちょうの間」

第13回通常総会を、正会員113名のうち88名（出席37名、委任状51名）の参加を得て開催しました。

鉄永幸紀理事長のあいさつに続いて、平成20年度に「緑の募金」への高額寄附を頂いた三洋電機コンシューマーエレクトロニクス株式会社に、理事長からの感謝状を贈呈しました。

続いて議長に団体会員森下洋一鳥取県中部森林組合長を選出し、議事録署名人に団体会員澤米由己智頭町森林組合長、個人会員竹内功次氏を選任したのち、第1号議案「平成20年度事業報告及び収支決算、第2号議案「平成21年度事業計画（案）及び収支予算（案）」第3号議案「要項の一部変更に係る委任について」、第4号議案「任期満了に伴う役員の選任について」審議されいずれも提案どおり可決承認されました。また、第5号議案「会員の入会について」について報告し承されました。

今後とも、外部有識者等の意見をお聞きしながら、一層効率的、かつ適正な事業の実施に努めて参りますので、皆様方の温かいご理解・御協力をお願いします。



緑の募金高額寄附者への感謝状贈呈



議 事

緑化推進委員会の理事の交替

総会以降に次の方々の理事の交替がありました。

区分	新理事	旧理事	所属
理事長	小 谷 茂	鉄 永 幸 紀	鳥取県議会議長
理事	吉 田 秀 光	榎 本 武 利	鳥取県町村会長
理事	入 澤 宏	山 根 英 明	鳥取県森林組合連合会代表理事會長

第55回鳥取県植樹祭の開催

第55回鳥取県植樹祭が4月26日（日）鳥取県、鳥取市及び本委員会の主催により、鳥取市国府町庁の国府町中央公民館において「広げよう万葉の里に豊かな緑」をテーマに開催されました。

当日の予定は当初、鳥取市国府町楠城「殿ダムふるさと広場」で実施する計画で、前日までに現地の準備を完了していましたが、当日朝の激しい雨や風で現地での実施は困難と判断し、荒天会場である国府町中央公民館に急遽変更して実施しました。

県下各地からみどりの少年団109名や県民の方々合わせて約600名の参加を得て盛大に開催されました。

式典の始まるまでの間は、浜坂小学校みどりの少年団10名による緑の募金が公民館入り口で行われました。

式典は開会宣言、参加したみどりの少年団の紹介、主催者挨拶、来賓紹介、来賓挨拶に続き緑化功労者の鳥取市立若葉台小学校、大山横手道上ブナを育成する会、日野川水系漁業協同組合、テーマ募集最優秀賞の国府中学堀尾理帆さん、同じく優秀賞の川路武志さん（大山町）の表彰が行われ、続いて鳥取市立国府東小学校6年生の野村卓郎さん、鳥取市賀露自治会の永井清副会長の「森林・みどりへの想い」の発表が行われました。

つづいて、鳥取市国府東小学校の「EVER GREEN」ダンスが披露され、参加者から盛んな拍手がおくられました。

その後地元芸能アトラクションとして地元の「因幡万葉おんな太鼓」、宮ノ下手おどり保存会による「手おどり」が披露されました。

玄関に入ったロビーでは、地元による昼食の無料配布と共に地元特産品の販売等が行われました。

（社）鳥取県緑化推進委員会では、参加記念品としてエゴノキ、ナツツバキ、ジンチョウゲの苗木を先着600名の方に無償配布し、好評を得ました。

今回は荒天会場ということで、代表植樹や参加者全員による植樹は行われませんでしたが、後日殿ダムふるさと広場における植樹は関係者で植樹されました。



平成21年度緑の募金

募金運動期間 春期 平成21年3月25日(水)～5月31日(日)

秋期 平成21年9月1日(火)～10月31日(土)

募金の目標額 2,800万円

「緑の募金」は森林の整備や緑化活動を支援し、きれいな水環境、災害の防止、きれいな空気、温暖化の防止など環境改善に役立っています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくるため、一人でも多くの人に「緑の募金」への温かいご協力を
お願いします。

街頭キャンペーン

緑の募金運動を盛り上げるため、運動初日の3月25日(水)ジャスコ鳥取北店及びジャスコ日吉津店で緑の募金街頭キャンペーンを行い、買い物客の皆様に募金の協力を呼びかけて頂きました。参加協力いただいた方は鉄永理事長ほか次の方々です。ありがとうございました。

ジャスコ鳥取北店での募金街頭募金キャンペーン参加者

鳥取県緑化推進委員会鉄永理事長、同鹿田副理事長、同鳥取市林支部長、鳥取県東部総合事務所竹内農林局長、鳥取県農林水産部嶋沢森林保全課長、賀露おやじの会藤田理事長、賀露小学校みどりの少年団の皆様、鳥取市農林水産部井上林務水産課長 等

ジャスコ日吉津店での募金街頭募金キャンペーン参加者

日吉津村石村長、日吉津村橋井議会議長、鳥取県西部総合事務所河原事務所長、同森林業振興室長、米子市役所渡辺様、成実小学校みどりの少年団の皆様、米子ロータリークラブの皆様 等

その他、小学校等の団体が運動初日から4月上旬にかけて、それぞれの地域で街頭募金活動を実施されました。



緑の募金贈呈式

5月29日県議会議長室で「みどりの募金贈呈式」が行われた。千代三洋工業株式会社（鳥取市晚稻西尾孝社長）様は、会社で取り組んだ「みどりの募金」の浄財を当委員会理事長鉄永幸紀にご寄付頂きました。

この浄財は、緑の募金の趣旨にのっとり大切に活用させて頂きます。ありがとうございました。



代表社員の本家浩之様より理事長へ贈呈、
(奥側) 西尾社長様

県内トヨタグループによる緑の募金実施

県内トヨタグループ5社（鳥取トヨタ自動車（株）・鳥取トヨペット（株）・トヨタカローラ鳥取（株）・ネッツトヨタ山陰（株）・トヨタ部品岡山共販（株））では5月18日のハイブリッド車新型プリウスの発表会を機会に、県内の販売店全店に緑の募金箱を設置し、春と秋の募金期間に「緑の募金」に取り組んで頂けました。

新型プリウスの記者発表会は、ジャスコ鳥取北店で行われ、その会場にも緑の募金箱が設置され、会場に訪れた報道関係の記者やお客様に募金の協力をお願いしました。

発表会の会場では、詰めかけた報道関係者や新型プリウスを見に訪れたお客様を前に、トヨタグループ5社の代表の挨拶に続いて、（社）鳥取県緑化推進委員会の鉢永理事長が挨拶と募金の取組へのお礼を述べました。

続いて新型プリウスがお披露目され多くの見学者が、新型プリウスのもつ機能や燃費の良さに納得の表情を見せしていました。また、新型プリウスの低燃費性と緑の募金が共通の環境保全へつながるとの認識も共有されたように見受けられました。



第60回全国植樹祭が福井県で開催される

第60回全国植樹祭が平成21年6月7日（日）福井市の一乗谷朝倉氏遺跡を会場に、「未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと」をテーマとして、約6,300人が参加して盛大に開催された。

式典では、天皇、皇后両陛下が福井の県木アカマツなど6種類の苗のお手植えをされ、ヤマボウシなど4種類の種のお手播きの後、女優の貫地谷しほりさんの詩の朗読や1歳から60歳までの60人が参加した「未来への一筆啓上」など一連の大会行事が行われ、大会終了時には、次回開催県の神奈川県知事に植樹祭のシンボルが引き継がれて式典を終了した。



式典にご出席の天皇・皇后両陛下

第64回全国植樹祭(平成25年度開催予定)を鳥取県に招致

平成25年度に開催される予定の第64回全国植樹祭を鳥取県で招致する計画が進んでおりました。平井知事は5月14日の定例記者会見で明らかにし、「地球温暖化対策に県が貢献することにもなり、また、環境の豊かさや林産物などの魅力をPRする機会にもなる」として、準備委員会を立ち上げる考えを示されました。

これを受け8月20日には準備委員会が立ち上がり、8月28日には（社）国土緑化推進機構より内定通知がありました。

招致が決定すれば、鳥取県での開催は前回の昭和40年に第16回全国植樹祭が大山町檜原で開催されてから48年ぶりの開催となります。

緑の募金公募事業の事業報告

今年4月に統合された日南小学校から、開校を記念して取り組まれた「緑の募金事業」の実施報告が届きました。

日南町立日南小学校

日南小学校開校記念植樹祭（平成21年5月16日(土)）

開校を記念し、学びの森（学校の裏山）に日南町の木「イチイ」を各学年で植樹するとともに、記念看板を設置しました。また、植樹に際し「イチイ」の木について、樹木医さんのお話しを聞いて学習を深めました。



＜学年毎に植樹＞



＜樹木医さんとイチイの木の学習＞

鳥取県緑化推進委員会「緑の募金助成事業」の助成を頂き実施しました。



＜記念看板＞
(日南産材の活用)

参加された方々より寄せられたコメントです。

- ・大きな木になってほしいです。
- ・日南町の木「イチイ」のことがよくわかりました。
- ・大きくなれようと願いながら土をかけました。
- ・学びの森で、ぼくたちが植えたイチイの木よ、大きくなってくれ。
- ・私たちが大人になった時には、どれくらい大きくなっているだろう。
- ・私たちもイチイの木に負けないよう成長していきたいです。



＜ちゃんねる日南で全町に放送＞

平成22年度用 国土緑化運動・育樹運動の標語を募集しています

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般国民の緑化思想の高揚を図るため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集しています。

標語の内容：簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであって、創作に限ること。

応募方法：ハガキに住所、氏名、職業（学校）標語を記載して応募する。

締め切り：平成21年9月30日（水）

その他の入賞作品の著作権は、社団法人国土緑化推進機構に帰属する。

国土緑化運動及び育樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて修正を加えることがある。

応募先：社団法人鳥取県緑化推進委員会

ダイドードリンコ(株)による「緑化推進自動販売機」の設置について

ダイドードリンコ(株)では緑の募金に協力する「緑化推進自動販売機」の設置を進めておられます。当該自販機は売上げ収益の一部を緑化推進機関に募金するというもので、当委員会も対象となります。設置希望の方は当委員会まで申し出て頂けるとありがたいと思います。

会員募集のお願い

社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展および国際緑化に寄与することを目的として設立された団体です。

本委員会の組織運営は、正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口1万円以上

お問い合わせ先 〒680-8570 鳥取市東町一丁目220（鳥取県農林水産部森林・林業総室）

（社）鳥取県緑化推進委員会

電話：0857-26-7416

FAX：0857-26-7308

URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

平成21年度の助成事業・交付金事業

事業区分	事業内容	助成対象者	助成額
緑の募金事業	森林づくりの促進	植林、下刈り等の森林の整備森林での林業体験 等	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部 等 5万円以上50万円以内
	ボランティア活動の支援	森林ボランティア団体が森林整備活動を行うための経費の一部を助成する。	森林ボランティア団体 当該年度の予算の範囲内
	地域緑化の推進	地域の緑化及び地区住民の緑化意識の高揚を図り、緑づくりを促進するためのイベントの開催	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部 等 5万円以上20万円以内
	みどりの少年団活動推進	通常の活動に加えて実施する自然・森林・緑に関わる学習活動、野外活動、奉仕活動	みどりの少年団 5万円以上10万円以内
	学校林等利活用促進	学校林等を活用した活動、学校林の活用環境整備 森林・緑に関わる学習活動	学校、学校教育を支援する団体 等 5万円以上20万円以内
	国際緑化等の協力	樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動等	市町村、各種団体 等 20万円以内
	学校緑化推進事業(新規)	学校内の緑化樹木が大きくなり、校舎、施設等に接触し危険な状態となっている樹木の安全管理の実施	学校、学校教育を支援する団体 等 40万円以内(委託料は助成対象事業費の50%以内とする。)
	交付金事業(家庭募金等の65%を限度に還元)	樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動等	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部 等 市町村の決定額の範囲内
緑と水の森林基金事業	青少年・民間活動グループ育成	森林・緑化に関する各種イベントやキャンペーンの実施	市町村、民間団体、緑化推進委員会支部 等 5万円・10万円・15万円・20万円の定額

新任の挨拶



皆様方には日頃からの本委員会への御理解・御協力ありがとうございます。私は4月1日から事務局長としてお世話になります前田式部です。地球温暖化に伴う異常気象で、災害や環境の異変が報告される今、緑化推進委員会の役割は大きいと考えております。御指導、御協力よろしくお願いします。